←学校 HP にアクセスすれば、カラー版が見られます。

槇原小学校　学校だより

まきはら

２０２２年度　No.3
令和４年７月２２日発行
令和４年８月　５日回覧
柏崎市春日３丁目４番３１号
TEL　０２５７－２２－４０９０

さあ、夏休み！　どう過ごそうか？

猛暑が続いた６月からは一変、梅雨明けしたにもかかわらず７月は雨続きでした。校舎改築工事の関係で体育館や図書室が使えず、グラウンドで遊ぶこともできず、子どもたちが遊ぶには我慢が多かった７月でした。

４月の始業式・入学式から4ヶ月間、校舎改築工事に加え、コロナ禍で様々な制約がありましたが、子どもたちは学習や各種行事、課外活動等に一生懸命取り組んできました。

この間、保護者・地域のみなさま方には、学校の教育活動に対し、ご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。学年親子活動、PTA 活動、登下校の見守り、防犯パトロールや各学年の教育活動へのボランティア等でお力添えをいただきました。感謝申し上げます。

さて、明日から子どもたちが待ちに待った 33 日間の夏休みが始まります。約 1 か月ですが、長いようで始まってしまうとあっという間に過ぎてしまうのではないでしょうか。楽しく過ごしていると時間は早く過ぎ、つまらない時間は長く感じるものです。

自分が子どもの時、毎年お盆を過ぎる頃には「早く学校に行って友達と遊びたいな」と感じていたことを思い出します。そして、過ごし方はというと…夏休みの始まりは快調に課題を進めていたが、中だるみをして夏休み終わり近くになると慌てるというパターンが多かった気がします。夏休み前に先生や家の人としっかり計画を立てたのにもかかわらず、です。

今の子どもたちは、我々大人の子ども時代の夏休みと違って、インターネットなどでいつでも好きな番組や動画が見られたり、家庭用ゲームが身近にあったりと誘惑がたくさんあるので大変です。また、これらの誘惑に負けず、自分をコントロールするのはなかなか難しいものです。夏休み中は、先生の目はなく、お家の人の目も常にあるわけでない期間です。自分の経験から言うと、やるべきことを後回しにするとつらくなるのは間違いありません。



「規則正しく生活する」、「普段できないことにチャレンジする夏休み」、「楽しく過ごす夏休み」にするために、どうぞご家庭でも、過ごし方についての話し合いと見守り、見取りをお願いいたします。

お子さんも保護者・地域のみなさまも安全・安心でよい夏をお過ごしください。

（校長　小田　麻由美）

こんな夏休みにしたいな　　（子どもたちの生活表から…）

お手伝いをたくさんします。

本をたくさん読んで、読書感想文を書きます。

自転車乗りの練習をします。

習字の課題にチャレンジします。



今年も自由研究に取り組みます。

毎日勉強を1時間します。

妹と一緒に遊んでお世話をします。

夜ご飯をつくる手伝いをします。

安心・安全な夏休みにするために…

先日、柏崎警察署の交通課の方からお話を聞く機会がありました。令和3年度の柏崎市内小・中学生による事故発生件数は、8件で、県平均よりも高い傾向にあるそうです。特に、自転車乗車中の事故が多く、飛び出し事故が多いそうです。うまくブレーキを掛けられない子どもが増えているとのことでした。自転車では、「こぐ（乗る）」ことよりも「止まる」ことの方が重要です。

最近では、足ブレーキで止まろうとする子が多いそうです。危ない!と思うと、とっさに足がペダルから降りてしまうのです。足ブレーキで止まりきれずにバランスを崩し、転倒してしまうようです。



夏休みは、子どもたちの自転車での移動が多くなることと思います。ハンドルブレーキをしっかり握る止まり方について、ご家庭でもご指導ください。

また、万が一…の時のためにヘルメットの着用もお願いします。

先日、新潟県自転車の安全で適正な利用に関する条例について、チラシをお配りしました。子どもたちに直接かかわることです。こちらも再度ご確認ください。

新潟県自転車の安全で適正な利用に関する条例

第15条　乗車用ヘルメットの着用の推奨（令和年4月1日～）

第17条の2 自転車損害賠償瀬金員保険等への加入の義務化（令和4年10月1日～）

まきの子アルバム



１年生　着衣泳「浮いて待て！」



２年生　研究授業
国語「あったらいいなこんなもの」



３年生　総合「柏崎のいいところは？」
～シティ・セールス～



４年生　クリーンセンター見学
社会「ごみはどこへ」



５年生　歯科保健指導



６年生　県立歴史博物館見学




親子ふれあいクイズ



お子さんと一緒にクイズを解いて、ふれあいの時間を過ごしてみてください。

Q1 ： 毎月22日は、ショートケーキの日です。どうしてでしょう。

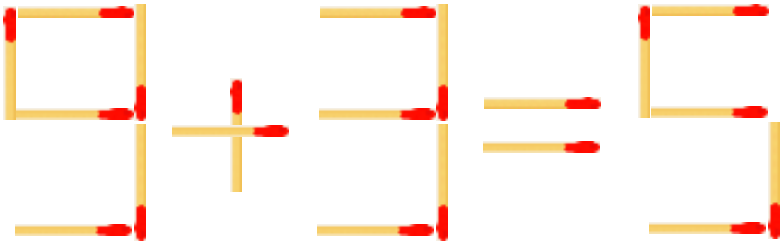




Q2 ： 10円玉を1つ動かして、たても横も4枚になるようにしましょう。



Q3 ： マッチ棒を1本動かして、正しい計算式にしましょう（答えは2通りあります）。



＊ Q2, 3ついては、実際に 10 円玉や棒を用意して、操作しながら考えるとよいと思います。

答えは、夏休みに明けに校長室前廊下に掲示します。また、次号でもお知らせします。